

# 北海道NPO情報



NPO推進北海道会議  
北海道NPOサポートセンター  
北海道NPOバンク  
NPOバンク專業組合  
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会  
札幌市中央区北4条西12丁目  
1976年7月9日第3種郵便物認可  
定価 100円

【2005年8月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！



もくじ	ページ
NPO越智基金公募助成案内	2~3
NPO向け融資制度のお知らせ	4~5
ワードデザイン講座(チラシ編)/コラム/法人数	6
研修日誌/コミュサポ/バンク情報	7
NPO入門セミナー	8
助成活動シンポジウム	9
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	10
情報BOX(イベント案内)	11~12
助成金情報	12



## NPO法人会計講座開講のお知らせ

～短期集中5回講座 8月19日開講～

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。日常会計処理、会計ソフト「会計王」を使った仕分けの実際を学びます。ご参加下さい。

日時/

- 第1回 8月19日(金) 18:00~20:00      第2回 8月20日(土) 14:00~16:00
- 第3回 8月26日(金) 18:00~20:00      第4回 8月27日(土) 14:00~16:00
- 第5回 9月2日(金) 18:00~20:00

場所/北海道NPOサポートセンター研修室(札幌市中央区北5条西6丁目 札通ビル8階)

講師/小沼 千佳子(北海道NPOサポートセンター会計担当)

定員/10名程度(最少催行人員3名) 受講料/10,500円(税込み、初回納入)

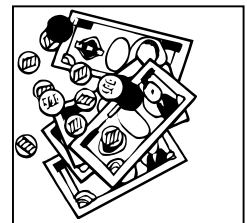
締切り/8月17日(水)先着順。(定員になり次第締め切ります。)

参加対象者/パソコンの文字入力できる方

問合せ・申込み/TEL 011-271-5208 FAX 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp(担当 山本・松本)

主催/NPO法人北海道NPOサポートセンター



### 【講習の概要】

簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題をやってみます。

講習時に使用する会計ソフトは、「会計王5 NPO Limited」です。

ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。今回は講習中に、団体それぞれの個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。

## 「北海道NPO越智基金」NPO活動助成金（一般公募）応募要項

### 「NPO越智基金」の趣旨

元北教組書記長・副委員長で、札幌地区労働組合協議会議長を長年務められ、1997年に他界された越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されました。NPO推進北海道会議は、越智喜代秋さんの意志を受け継ぎ、『NPO越智基金』を設立、2002年12月「北海道NPO越智基金」としてNPO法人格を取得しました。1999年は30団体に総額226万円、2000年は38団体に273万円、2001年は34団体に総額202万円、2002年は38団体に総額187万5千円、2003年は32団体に160万円、2004年は28団体に200万円の助成を実施しました。

### 今年度の助成方針

2005年「NPO越智基金」はNPO活動がより活発になるための一助になるよう、NPO活動助成を行うこととします。今年度は例年通りの「一般公募助成」原資を100万円とします。

当基金は、非営利活動団体（NPO）に対して援助を行い、その活動の発展に寄与することを目的としています。

### 応募について

2005年については、下記の通り募集しますのでご応募ください。

1. 助成対象 非営利市民活動を主たる目的としている団体（NPO）
2. 応募の資格 北海道内で活動しているNPO（NPO法人、任意団体）
3. 助成金額 総額 100万円以内（10～15団体程度に1万円～10万円の範囲内で助成）
4. 応募期間 応募〆切 8月31日（水）午後6時必着
5. 選考方法・発表 書類審査とヒアリング（応募書類受領後、応募団体に問い合わせをする場合がありますので、その場合は応答ご協力をお願いいたします）  
「北海道NPO越智基金」理事会において選考し、助成先を決定します。  
決定通知 9月中旬 助成金支払い 9月下旬（助成先は個別に通知すると共に北海道NPO情報等で広報します。応募提出書類は返却いたしません）
6. 助成金の用途等 助成金の用途について特に制限はありません。事業活動経費の足し、機器整備、人件費等、団体の活動目的を達成するために使ってください。
7. 応募用紙請求先・お問い合わせ先 / 応募用紙提出先  
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階北海道NPOサポートセンター内  
NPO法人北海道NPO越智基金宛 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Email npo@mb.infosnow.ne.jp

（担当：北村、谷口）

4年間活動継続の  
NPO法人に朗報！

## 「北海道NPO越智基金」NPO活動助成金（指定公募）応募要項

NPO法人制度創設来7年。助成開始7年目を迎え、今年度助成金配分予定金の半額100万円を原資にして、道のNPO法人認証団体で、法人登記してから4年間活動が継続し、その間毎年度情報公開をきちんと行っている団体を対象にした「指定公募助成」を実施します。

対象団体に自己申告で申請していただきますが、応募資格があるかどうかは審査させていただきます。（所轄庁への報告書の閲覧で確認）。一般公募助成との重複申請は、ご遠慮ください。

### 応募について

1. 助成対象 NPO法人認証団体で、法人登記してから4年間活動が継続し、  
その間毎年度情報公開をきちんと行っている団体
2. 応募の資格 北海道のNPO法人認証団体
3. 助成金額 総額 100万円以内（5団体程度に、1団体20万円の範囲内で助成）
4. 応募期間 応募〆切 8月31日（水）午後6時必着  
申請用紙は一般公募助成申請書をお使いください（申請書右上の「指定」欄に をつけてください）。
5. 選考方法・発表 書類審査とヒアリング（応募書類受領後、応募団体に問い合わせをする場合がありますので、その場合は応答ご協力をお願いいたします）  
「北海道NPO越智基金」理事会において選考し、助成先を決定します。  
決定通知 9月中旬 助成金支払い 9月下旬（助成先は個別に通知すると共に北海道NPO情報等で広報します。応募提出書類は返却いたしません）
6. 助成金の用途等 助成金の用途について特に制限はありません。事業活動経費の足し、機器整備、人件費等、団体の活動目的を達成するために使ってください。
7. 応募用紙請求先・お問い合わせ先 / 応募用紙提出先  
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階北海道NPOサポートセンター内  
NPO法人北海道NPO越智基金宛 電話011-204-6523 FAX011-261-6524  
Email npo@mb.infosnow.ne.jp （担当：北村、谷口）

**NPO越智基金 助成金 応募用紙 記入要領** (記入例)

**応募締切 2005年8月31日(水)必着** 「記入要領」を参照して記入してください。  
 応募団体の活動に関する資料(案内、ニュース、会則、チラシ等)を同封してお送りください。

一般	
指定	

ふりがな 団体名	<u>団体名・ふりがなを書いてください</u>		電話 _____
住所	<u>〒 団体所在地の住所(郵便物が届くように)</u>		FAX _____
代表者役職名 (ふりがな) 氏名	<u>例)代表理事</u> <u>やまだ たろう</u> <u>山田 太郎</u>	会員数   <u>名</u>	設立(NPO法人は法人登記年月)  <u>1997年 5月</u>
申請者連絡先 (氏名等)	<u>申請者の住所氏名および電話番号などを記入してください</u>	<u>携帯電話 お持ちの方は記入してください</u>	Emailアドレス <u>お持ちの方は記入してください</u>
団体の種目的とこれまでの主な種加内容	<u>目的: 環境 福祉などの分野 さらには具体的な種加目的を書いてください</u> (NPO法人は、定款の目的を記載しても構いません) <u>主な種加内容: これまで行ってきた種加内容を具体的に書いてください</u> (NPO法人は、定款の事業を記載しても構いません。) 例) 集会やイベントの開催、ブックレットの発行、日常的な種加内容など (資料があれば添付してください。NPO法人は今年度総会議案書を添付して下さい) (「別紙のとおり」といった書き方はしないでください。選考対象から除外します)		
最近1年間の活動予算	主な収入 会費...60万円 事業収入...300万円 寄付金...50万円 助成金...80万円 バザー収入他...10万円 主な支出 講演会費...60万円 イベント費...50万円 研修会費...80万円 人件費...180万円 事務費...60万円 事務費(滞留 電話代 郵送費など)...60万円 その他...10万円 (「別紙のとおり」といった書き方はしないでください。選考対象から除外します)		
助成申請理由と助成により期待される効果	例) 研修会を企画していますが、参加費をできるだけ安く、多くの方に参加していただくため、テキスト作成費用の一部の助成を期待しています。 助成があれば、研修会参加費を1人から5000円から、2000円に軽減することができます。 (「別紙のとおり」といった書き方はしないでください。選考対象から除外します)		
活動を進める上で困っていること	<u>申請理由の他に種加の上で困っていることなどを書いてください</u> 例) 会場整理を得意とするスタッフがいないため、会場担当役員の負担が重く困っています。 また、パソコンを使えるスタッフがいないため情報収集が遅れます。		

応募用紙は、上記形式であれば、罫線など多少のズレ等があっても構いません。

事務局記入欄

この用紙のコピーを1部とって保管しておいてください。

## NPO対象の融資制度のご案内

運営資金にお困りのNPOのみなさまにお知らせです！  
NPOを対象とした北海道内の融資制度をまとめましたので、参考にしてください。

	北海道NPOバンク		さっぽろ元気NPOサポートローン
実施主体	特定非営利活動法人 北海道NPOバンク		札幌市(取扱金融機関 / 北海道労働金庫、北海道銀行、北陸銀行、北洋銀行、札幌銀行、秋田銀行、札幌信用金庫、室蘭信用金庫、空知信用金庫、苫小牧信用金庫、北門信用金庫、小樽信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫、稚内信用金庫、留萌信用金庫、北央信用組合)
融資対象	一般融資	短期小口融資(三ヶ月ローン)	市内に主たる事務所を有し、原則として特定非営利活動促進法に基づく法人格及び3年以上の活動実績を有する市民活動団体
	NPOバンク事業組員 NPO団体又はワーカーズ・コレクティブ(法人格の有無は問わず) 事業目的に社会性があること	過去2年以内に北海道NPOバンクから一般融資を受け、直近の融資で遅滞なく、かつ申し込み時の返済計画通りに完済している実績があること  三ヶ月ローン利用権を取得していること	
使 途	運転資金、設備資金、開業資金	運転資金	運転資金及び設備資金
限度額 / 返済期間	200万円以内  1ヶ月単位で1年以内(ただし、事業状況等を確認のうえ、1年間の延長をすることができる)	10万円以上、50万円以内(貸し出し単位は1万円)  1ヶ月単位で3ヶ月以内	担保がない場合  運転資金 500万円以内 原則1年以内(最長3年以内)  設備資金 500万円以内 5年以内
			担保がある場合  運転資金 500万円以内 原則1年以内(最長3年以内) 設備資金 5,000万円以内 10年以内  (取扱金融機関の担保評価額の範囲内)
利 率 (年利)	2.0%固定	5.0%固定	以外 2.0%  5年超の設備資金 1,000万円までの分 2.0% 1,000万円を超える分 3.075%  (2006年3月31日融資実行分迄適用)
保 証 人	団体代表者を含めて連帯保証人2名  (ただし、資金使途が行政からの委託事業の場合は団体代表者1名)	不要	代表理事1人以上(その他事業内容によって保証人が必要な場合があります)
担 保	不要	不要	不動産に関する設備資金については担保が必要。それ以外についても原則として不動産を有する場合は担保をつける。
返 済	元利一括返済又は元利均等毎月返済	元利一括返済	割賦又は一括返済(割賦の場合は原則として元金均等毎月償還)
申込み	北海道NPOバンク事務局		取扱金融機関の窓口
対 象	北海道内		札幌市内

	ろうきんNPO事業サポートローン	国民生活金融公庫 新規開業資金
実施主体	北海道労働金庫(ろうきん)	国民生活金融公庫
融資対象	北海道内に主たる事務所を有すること 特定非営利活動法人(NPO法人)であること 原則として、法人格取得前を含め活動実績が3年以上あり、かつ法人格取得後最低1事業年度決算が確定していること	次のいずれかの要件に該当する方 1. 現在勤務する企業と同じ業種の事業を始める方で、次のいずれかに該当する方 (1) 現時点で6年以上継続して同一企業に勤務の方 (2) 現在勤務する企業と同じ業種に通算6年以上勤務の方 2. 大学等で修得した技能等と密接に関連した職種に継続して2年以上勤務し、その職種と密接に関連した業種の事業を始める方 3. 技術やサービス等に工夫を加え多様なニーズに対応する事業を始める方 4. 雇用の創出を伴う事業を始める方 5. 1~4により新規開業しておおむね5年以内の方
使 途	運転資金及び設備資金	新規開業するために必要な資金及び開業後に必要な資金
限度額/ 返済期間	担保がない場合 運転資金 原則 500万円以内 手形貸付は1年以内 (手形期日は6ヶ月以内) 証書貸付は原則最長3年以内 設備資金 原則 500万円以内 原則 5年以内 担保がある場合 運転資金 原則 500万円以内 手形貸付は1年以内 (手形期日は6ヶ月以内) 証書貸付は原則最長3年以内 設備資金 原則 5,000万円以内 原則 10年以内 (原則労金所定の担保評価額の範囲内)	7,200万円以内 (うち運転資金 4,800万円以内) 運転資金 5年以内 (特に必要な場合7年以内) うち据置期間6ヶ月以内 (特に必要な場合1年以内) 設備資金 15年以内 うち据置期間3年以内
利 率 (年利)	労金所定の融資金利(原則変動金利制、返済期間・担保の有無に応じて利用金利が異なる) 2.375~3.875%(2005年7月15日現在)	1.45~1.75% 技術、ノウハウ等に新規性がみられる特定の方の設備資金は0.55~1.35% (2005年7月13日現在)
保証人	法人理事(原則3名以上)の連帯保証人が必要(無担保、有担保を問わず)	原則必要(応相談)
担 保	担保がない場合 不要 担保がある場合 不動産、労金預金等	原則必要(応相談)
返 済	証書貸付は、元金均等毎月償還方式 手形貸付は、期日一括返済(利息前受)	原則として月賦払い 元金均等返済、元利均等返済、ステップ返済
申込み	北海道労働金庫本店、各支店窓口	国民生活金融公庫各支店窓口
対 象	北海道内	全国



ここに記載した内容は、各金融機関等が作成したパンフレットなどを参考に作成しましたが、内容や表現について各金融機関等に確認をとっておりませんので、実際に融資を申し込まれる際には、事前にお問合せくださいますようお願いいたします。

お問合せ先

北海道NPOサポートセンター

電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Email npo@mb.infosnow.ne.jp(担当:北村、谷口)

## 簡単・効果的！Wordでつくるグラフィック・デザイン講座【ちらし編】

### 好評につき追加開催決定！！

開催イベントの告知や団体紹介のちらしを作りたいけれど「レイアウト・デザインがかっこよく決まらない...」という悩みをお持ちではないですか？

ポイントを押さえれば、レイアウト・デザインはとっても簡単！

汎用ソフト・Wordを使って、効果的なちらしデザインを楽しんでみましょう！

7月25日(月)に行った内容と同じです。

日時 2005年8月18日(木)18:30～20:00

内容 1.掲載情報を整理してみよう

デザインより、まず内容チェック！何が一番伝えたいことなのか、見直してみよう。

2.ぴったりの素材を探そう

文字ばかりのちらしは、見づらく、印象に残りにくいもの。

無料で手に入れられる素材でアクセントをつけてみましょう。

3.さあ！レイアウト

レイアウトは“メリハリ”が肝心。資料を参考にすれば、いつもとはひと味違ったちらしが完成！

講師 天元 志保(てんもと しほ)

キャリア教育研究会メンバー、北海道大学国際広報メディア研究科研究生。印刷会社で4年間グラフィック・デザイナー、4年半企画営業職を務めた経験を持つ。

場所 北海道NPOサポートセンター研修室(札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル8階)

対象 NPOの広報や事業運営担当者

人数 10人(先着順) 研修費 500円(税込み)

申込み 住所・氏名・年齢をご記入の上、以下まで。

FAX 011-281-8807 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

問合せ 電話 011-271-5208(担当:松本、山本)

### サポセンスタッフの落書きコラム 松本 公洋

お子さんたちは夏休み真っ盛りですね。さて、夏休み前に通知表を手渡しされているのでしょうか？昔は、終業式に通知表を家に持ち帰っていましたが、最近は2学期制が広まって、そうでもないみたいですね。

ところで、小学校の通知表って覚えていますか？私が小学生だった頃は、数字の5段階評価ではなく、「よくできる」「あと一歩」「がんばろう」の3段階評価でした。成績の中味は中学生のように進路に影響しないので、ある意味どうでも良かった？ので、あんまり覚えていないのですが、ごくフツーだったような気がします。

ただ・・・何年生の時かは記憶にないのですが、家庭への通信欄に「協調性がなく、好きなことはやるけど嫌なことはしない」というような趣旨のことが書かれてありました。(なんてNPO向きなんでしょう！(笑))

でも、人間やはり、理屈抜きに嫌なことは嫌だし、好きなものは好きですよえ・・・。

特に掃除当番とかをサボった記憶はないんですが、要は好きな科目は勉強するけど、苦手な科目は勉強しないと言うことだったようです。勉強はバランスよくオールラウンドにできることが“良し”とされていたんでしょうね。

今もそうなのでしょうか？

どうせだったら、嫌な分野は困らない程度に身に付けて、後はとことん好きな分野を伸ばすだけ伸ばせたら、ひょっとしたら何かに秀でた人物になっていたかもなあ～なんて勝手に思ったりします。(何かに秀でた人はいつの世にもいるはずなので、言い訳にすぎませんが・・・)

でも、この通信欄に書かれたことは、良いか悪いかは別にして、今のNPO業界にも当てはまるような気がします。“好きなことしかやらない”というのとはちょっと違いますが、各NPOは、専門性や得意分野を活かして課題解決に当たるべく活動に専念するけれども、異分野間の連携があまりない・・・。みたいな。

異分野間のNPOが結びつくと、相乗効果で1+1が2にも3にもなる気がするし、そんな可能性は充分にあると思います。(良い子のみなさんは、1+1=2とか3なんて書かないで下さいね。「がんばろう」がつくかも・・・)

その連携を促すのも中間支援組織であるサポセンの役目だったりするのでしょうか、これがなかなか難しいんですよー。

### 特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npodata/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 6月30日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	23911	<b>22424</b>	150	439
道内の申請受理数 6月30日現在 (北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	883	<b>833</b>	0	20

## NPO研修日記

2005年度 その4



谷口 直子

## 「ハリネズミの距離」

もう20年以上前の話になりますが、私が小学生の頃は、集団登校をしたり、近所のお姉さんたちと一緒に遊んだりしていました。近所のおばさんや子どもたちはみんな知り合いで、道で会えば挨拶を交わすのが当たり前でしたが、その後引っ越したこともあって、高校に入ってからのご近所づきあいをすることもなく、現在に至っています。

これまではご近所づきあいのない生活に特に疑問を持たずにいたのですが、数年前にひどい風邪を引いて寝込んだときには、このまま一人で暮らしていたら、いつか誰にも看取られることなく、死後しばらくたってから発見されたりするのかもしれないなあ、そうならないようご近所づきあいも必要なのかもしれないなあ・・・、などと考えたりしました。

人付き合いがわずらわしくて地域から出る人、人付き合いが恋しくて地域へ戻っていく人、きっと、それぞれの価値観や生活環境などによって、選択は変わってくるのだと思います。人といい加減の関係を築き、保っていくのは難しいことです。

ハリネズミは、寒いとき体を寄せようとしても、近づくと体中のハリでお互いを傷つけてしまうので、一定の距離を保って近くで寝るそうです。人間関係も、遠すぎて寂しかったり、近づきすぎて傷ついたりしながら、致命傷に至らないうちに、ちょうどいい距離を見つけられるようになりたいものです。



## 今年もやっています！ コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るという枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩、当別、厚田、浜益、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳）の10市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ」そんな心配はいりません。

札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

▶ **募集・利用料** 募集団体数:100団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口へ、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階  
TEL:011-290-1313 FAX:011-290-1311

## NPOバンク融資申込みのお知らせ

第12回融資 申込期間 8月2日から8月18日まで / 融資実行9月下旬

融資申込みに際して必要な書類は下記URLから取り出せます。

## NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F  
北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524  
npobank@npo-hokkaido.org [http://npo-hokkaido.org/bank\\_hp/index.htm](http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm)

# 団塊の世代にもピッタリ！ 「NPO入門セミナー」

## - あなたに伝えたい“思い”があります -

NPOって何だろう？ 環境保全に興味があるけど…。高齢者介護に関心があるけど…。ボランティアに関心があるけど…。参加のきっかけがつかめなかった etc.

北海道NPOサポートセンターが、はじめてのNPOをご案内いたします。

道内各地から参加しやすい日程になっており、稚内・網走・根室・函館方面からも車中泊なしの1泊2日での参加が可能です。ぜひ、ご参加ください！

【日時】9/17(土)13:00~18:30 9/18(日)10:00~16:15

【場所】北海道NPOサポートセンター 会議室  
札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

(地下鉄東西線「西11丁目駅」下車、【3番出口】から南へ徒歩約5分)

【参加費】12,600円(消費税・資料代等込み) 当日直接お支払いください。

【定員】10名程度(先着順) 【締切】9/9(金)まで

【主催】特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

【後援】北海道、札幌市(申請中)

【申込み方法】氏名、年齢、連絡先(住所・電話・FAX・Eメール)、興味のある分野を、下記までFAXまたはEメールでお送り下さい。

【申込み・問合せ先】北海道NPOサポートセンター TEL 011-271-5208 FAX.011-281-8807  
Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp (担当/山本・松本)

### 【日程概略】

- (9/17・土) 1時限目 講義「私とNPO」(仮)(講師:佐藤隆氏)  
2時限目 アイスブレイキング(NPO基礎知識の習得)  
3時限目 海外のNPO事情  
(9/18・日) 4時限目 N・POWER ツアープラス1(現地視察とNPO代表者との座談会)  
5時限目 NPO法人と他の法人格との比較  
6時限目 総まとめ

カリキュラムは変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 報告 伝えるコツを身につけよう NPOのための広報スキルアップセミナー

(2005年7月22日10:00~17:30 於:札幌ビル5階研修室)

NPO広報力向上委員会主催のスキルアップセミナーが開催されました(協力:日本NPOサポートセンター/北海道NPOサポートセンター)。講師に㈱電通エグゼクティブ・プランニング・ディレクターの白土謙二さんを迎え、受講者は道内各地からNPOの関係者40名が参加しました。

日本NPOセンター事務局長・田尻佳史さんの挨拶のあと、広報力向上委員会作成の『伝えるコツ NPOの広報力を考える15のヒント』をテキストに、白土さんによるセミナーが始まりました。白土さんがもっとも強調されていたのは、“何を伝えるか”が大事で、表現(テクニック)は手段の一つにすぎないということ。そのための、自らを知り、伝える相手を知り、課題を整理する方法を、順序だてて丁寧に、テキストに添って話されました。テキストはドリル形式になっており、チラシ作成時等に何度でも繰り返し使うことで、メンバーが自分の団体をじっくり見つめ直し、すれ違った意思のすり合わせができることを意図して作られています。経験談、裏話を交えての語り口はプロのエキス満載で、長丁場(実際はさらに時間延長)にもかかわらず充実した一日でした。

質問コーナーで、「一企業人としてNPOに期待することは？」との問いかけに、NPOの可能性としてクリエイティビティを挙げられ、企業とNPOは協力できるはず、ソーシャルコミュニケーションにより社会変革も可能、と話されたのが印象的でした。 【報告:東川佳子】

(当日の配布資料が若干残っています。お問合せ下さい。)

NPO広報力向上委員会/NPOが広報力をつけることにより、活動のポテンシャルを広げ、かつ社会に対する情報公開の充実が図れるのではないかという視点により、NPO関係者と㈱電通により立ち上げられた。

## 助成活動シンポジウム in 札幌

助成金を活用しつつ、いかに自立をめざすか。道内初めての助成金シンポジウムです。

開催日：2005年10月8日(土) 13:00～17:00 クリスマンセンター(札幌市中央区北7西6)

内容：報告(国松秀樹キリン福祉財団事務局長)

基調講演(樽見弘紀北海学園大学法学部教授/北海道NPOバンク理事)

パネルディスカッション(国松秀樹氏、樽見弘紀氏、秋山孝二秋山記念生命科学振興財団理事長、大島寿美子北星学園大学文学部助教授、田口晃北海道NPO越智基金代表理事/北海学園大学法学部教授、森田麻美子ボラナビ倶楽部代表理事、渡辺三省札幌市市民まちづくり局市民活動促進担当課長)

懇親会(17:00～18:30)

主催：NPO支援財団研究会

## 2005 市民活動全道フォーラム

2005年10月2日(日) 10:00～16:30 かでる2・7 道民活動センター(札幌市中央区北2西7)

講演「市民活動団体と行政の協働(仮)」講師：川北秀人氏(IIHOE 代表)、分科会、市民活動見本市

【問合せ先】NPO法人 北海道NPOサポートセンター TEL:011-204-6523

E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

---

---

### 「役員名簿」及び「社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載した書面」の閲覧に係る個人情報保護との関係について

事業報告書提出に際し、前事業年度の役員名簿と前事業年度の社員のうち10人以上の名簿については住所を記載することになっています。

個人情報保護の問題等を考えたとき、詳細な住所を誰でも見ることができるということは、非常に危険な状況であると考え、サポートセンター・推進会議の事業報告書提出にあたり、住所を詳細に記したものと省略したものを提出し、閲覧の請求があった場合には住所が詳細に記されたものを、閲覧棚に置く場合は省略したものを利用して欲しい旨、北海道の担当部署に要望しました。

道は内閣府に確認し、「行政が法で定める縦覧や閲覧以外の、いわゆる目的外使用を行わない限り法的には問題なく、現段階では、法の趣旨に基づき閲覧等に供すべきである」、「閲覧者は氏名等を記入し閲覧するので、閲覧棚に置くことと、閲覧の請求は同じである」、「しかし、今年4月から施行された個人情報の保護に関する法律の趣旨との関係については、今後の見直し材料になりうる可能性はあると考える」との回答を得ました。この件についてはシーズ=市民活動を支える制度をつくる会のニュースでもとりあげられました。(シーズ <http://www.npoweb.jp/>)

【報告 北村美恵子】

---

---

### 「NPO」「ボランティア」商標権問題についての最終報告

NPO情報6月号でお知らせしましたとおり、「NPO」「ボランティア」の商標登録に対する異議申立に関して、特許庁が2005年5月に(株)角川ホールディングスが有している「NPO」「ボランティア」の商標登録を取消しましたが、2005年7月25日、「NPO」「ボランティア」の各商標権が正式に「登録抹消」されました。【2005年7月28日 情報発信者 弁護士 三木秀夫】

#### NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

#### 北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00～18:00(月～土)(日、祝日休み) IP電話 050-7543-3291

**書籍案内**

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック  
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・設立登記（法務局）
- ・登記完了届（道庁）
- ・変更登記（法務局）
- ・事業報告書等の提出（道庁）
- ・任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・事務所移転（法務局と道庁）
- ・定款の変更（法務局と道庁）

**諸届ひな型のCD付き**

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

**【問合せ】**

北海道NPOサポートセンター  
TEL 011-204-6523  
FAX 011-261-6524  
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



**講座予告 北海道自治体学会フォーラムin札幌**

【メインテーマ】役所まかせでいいの？

～問題解決に向けた地域のあり方

日時 10月1日（土）10：30～17：00

場所 北海道クリスチャンセンター

（札幌市北区北7条西6丁目）

スケジュール 10：30 上田文雄札幌市長挨拶

10：40開会挨拶オリエンテーション及び問題提起

11：00～15：00 ワークショップ

（昼食12：00～13：00含む）

15：30～17：00 ワークショップ

テーマ1 有機な暮らしをみんなで作る方法

～生ゴミの堆肥化から考える～

2 まちづくりセンターを革新の拠点へ

～私たちの自治を考える～

3 市民提案 公共事業でまちを元気に！

～300万円で考えるまちづくり事業

4 なぜ アライグマが野生化したのか？

～市民は？行政は？専門家は？

16：30～17：20 全体会議

17：30～ 交流会

主催 北海道自治体学会フォーラムin札幌 実行委員会

フォーラム参加費1,000円（学割あり）

交流会参加費2,000円 昼食（弁当代）

600円 問い合わせ FAX 011-261-1921

メールアドレス jichigakhok@yahoo.co.jp



**NPOな...**

**書籍案内**

札幌市介護保険・福祉サービス  
事業所ガイドブック

好評発売中!

札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所1,457箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所（名称、住所等の基本情報のみ）、札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなどの情報が満載！です。

介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、

配食、ミニデイ、移送、施設

系の養護老人ホームなど各事

業所（今年から生活支援ハウ

スも掲載）を網羅。

区別・サービス別・法人別、3

種類の索引で探しやすいです。

区別・サービス別・法人別、3

種類の索引で探しやすいです。

区別・サービス別・法人別、3

種類の索引で探しやすいです。

区別・サービス別・法人別、3

種類の索引で探しやすいです。

区別・サービス別・法人別、3

種類の索引で探しやすいです。



■価格：2,000円（税込み）

A4判（470ページ）送料別途

【問合せ】北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

**巡回移動上映会のお知らせ**

『アボン・小さい家』 地球で生きるために  
平和・地球環境・家族の物語

約100年前に日本からフィリピンに渡った出稼ぎ労働者の子孫の物語。家族・宗教・少数民族文化・戦争の歴史・ジェンダー・貧困と真の豊かさ、のテーマ郡を「地球で生きるために」という大テーマで包んだ静かなコメディタッチの劇映画です。

脚本・監督を手がけた今泉光司さんが自ら車1台に機材を積んで巡回します。

<監督の話と映画上映会>

主催：NPO法人サルボン 03-3843-0877 後援：北海道

8月13日（土）函館市民会館小ホール 13:30

8月14日（日）札幌教育文化会館講堂 14:00,17:30

8月20日（土）旭川市民文化会館大会議室 13:30

8月21日（日）札幌教育文化会館講堂 10:00,13:00

8月27日（土）帯広・とかちプラザ・視聴覚室 10:00,13:30

8月28日（日）釧路市民文化会館・展示ホール 10:00,13:30

フィルム資料代 一般1000円 中高生800円

8月29日（月）美瑛町町民センター3階 開場17:50

主催：美瑛ロータリークラブ 問合せ：0166-92-9122

入場無料

NPO法人サルボン/フィリピン・ルソン島北部山岳地帯で映画を通じた社会活動をしている。サルボンとはタガログ語で「出会う」という意味。

2005年度第4回

**移送サービス運転協力者講習会**

この講習は、2004年3月に国土交通省が示した道路運送法第80条に基づく法的位置付け「NPO、市区町村社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人などによる有償運送の許可」(通称：ガイドライン)に示された「移送サービス運転協力者講習会」です。

開催日：8月27日(土)9:30~16:30

(札幌市中央区大通り西19丁目札幌市社会福祉総合センター)

8月28日(日)9:30~16:30

(札幌市中央区円山西町2-1-1北海道立心身障害者総合相談所)

定員：40人

参加費：10,000円(STネット北海道会員)

13,000円(STネット北海道非会員)

締切は、8月19日(金)になっております。

主催：北海道移送・移動サービス連絡会(STネット北海道)

共催：移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

後援(予定)：北海道・北海道社会福祉協議会・札幌市・札幌市社会福祉協議会・DPI北海道ブロック会議・

北海道NPOサポートセンター・北海道介護NPO

連絡会・さっぽろ介護NPO支援ネット

問合せ・申込先：STネット北海道事務局  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55

ほくろビル5階

DPI北海道ブロック会議内

TEL：011-219-5687 FAX：011-219-5688

http://www.stnet-hokkaido.jp/

e-mail：info@stnet-hokkaido.jp

**情報BOX**

**姜尚中さんをお招きする連続シンポジウム**

日時：8月19日(金)18時30分~21時30分

会場：札幌市エルプラザ3F大ホール(北8西3)

テーマ：「ともにアジアに生きる」

(講演テーマ)「アジアに生きる私たちと日本国憲法」

姜尚中 東京大学大学院情報学環教授

第2部 鼎談

上田文雄札幌市長/逢坂誠二ニセコ町長/姜尚中さん

参加費：1,000円

主催：ナチュラブ・北海道

参加申し込み方法について

おかげさまで問い合わせが大変多いので、この特別編の申し込み方法は以下の様にいたします。

メールまたはFAXにて下記の事項をご記入の上、送信ください。折り返しお葉書にて入場券をお送りいたしますので、当日受付にて参加費をご清算ください。

1. 郵便番号、住所
2. 氏名
3. 電話番号・FAX番号
4. 職業(勤務先)
5. メールアドレス(フリーメールは不可)

【ナチュラブ・北海道】

連続シンポジウム特別編 姜尚中氏講演 参加申込・事務局

TEL・FAX 011-512-3926

E-mail shinko3@mtb.biglobe.ne.jp

ホムンツ http://www.5f.biglobe.ne.jp/~natu-love/

**NPO全国フォーラム2005北陸信越会議**

「地域の力で」

～ひとが育つ、しくみが活きる、くらしが変わる

全国フォーラム(上越市にて開催)

2005年8月20日(土)14:00~18:00

(懇親会18:30~20:30)

2005年8月21日(日)9:00~16:30

開催場所 上越市厚生南会館及びその周辺(新潟県上越市)

主催 NPO全国フォーラム2005北陸信越会議実行委員会

参加対象 全国のNPO関係者及びNPOに関心のある方

(セクターや分野は問いません)

参加費 両日参加10,000円(宿泊費、食事代含みません)

部分参加 6,000円(1日単位)

懇親会 3,500円(参加費の振込時にご入金ください)

参加定員 1000名(定員になり次第締切り)

参加申込 定員になり次第先着順〆切

問合せ先 NPO全国フォーラム北陸信越会議実行委員会

〒943-0834 新潟県上越市西城町2-3-9

(くびき野NPOサポートセンター内)

TEL.025-521-5293(直通) FAX.025-521-5294

E-mail npo2005@kubikino-npo.jp

障がいのある方のパソコン活用を支援するボランティア養成講座を開催します。日時と開催地を選んでご参加下さい。

<申込み・お問い合わせ>

〒065-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル

8階 札幌チャレンジド

電話 011-219-1810 FAX 011-219-1811

e-mail：challenged@s-challenged.jp

**A 札幌市受託事業**

受講時間 午前10時~午後5時

受講日程

第1回 8月31日(水)・1日(木)

締め切り 8月10日(必着)

第2回 9月12日(水)・13日(木)

締め切り 8月31日(必着)

第3回 10月1日(土)・2日(木)

締め切り 9月16日(必着)

会場

西区二十四軒4条1丁目7 ポリテクセンター北海道

(JR 琴似駅下車徒歩5分、地下鉄琴似駅下車徒歩8分)

受講料・定員：無料・20名

申込み方法：郵送・FAX・電話でお申込み下さい。

**B 北海道受託事業**

第3回目 中標津町(8月27日、28日)

第4回目 浦河町(9月3日、4日)

第5回目 富良野市(9月24日、25日)

第6回目 枝幸町(10月8日、9日)

第7回目 倶知安町(10月15日、16日)

受講料：無料

受講申込み 札幌チャレンジドの以下のHPからお申込み下さい。

http://www.s-challenged.jp/do-volu.html

定員：各会場20名(先着順)

**C ITサポート基本セミナー**

日時：9月17日(土)10:00-16:00、

18日(日)10:00-16:00

会場：ポリテクセンター北海道  
 主催：NPO 法人 e-AT 利用促進協会、NPO 法人札幌  
 チャレンジド、マイクロソフト株式会社  
 費用：基礎コース / 17日 1,000 円(別途テキスト代  
 1,000 円)、実践コース / 18日 2,000 円 (当日払い)  
 \*札幌チャレンジドの会員で、両日出席の方には  
 2,000 円を補助します。  
 定員：各コース 先着40名  
 講師  
 ・ 畠山卓朗 (星城大学 リハビリテーション学部 教授)  
 ・ 中邑賢龍 (東京大学先端科学研究センター 特任教授)  
 ・ 奥山俊博 (東京大学先端科学研究センター 研究員)  
 札幌チャレンジドのホームページからお申込みください。

## 助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ～「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えていきます。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります) 詳細はお問い合わせください。  
 電話011-204-6523 (担当:畑)

下記の助成金情報については助成元からの依頼情報(抜粋)です。インターネット環境にないNPOのみなさんに、募集要綱などのFAXサービスを行います。(NPO推進北海道会議または北海道NPOサポートセンター会員へのサービスです。)

NPOアクセシビリティ支援プログラム  
 NPO法人 イー/エルダー  
 ~NPOが広げる情報バリアフリーの世界  
 募集期間：7月11日(月曜日)から、8月31日(水曜日)まで 助成金1団体50万円まで。10~15団体助成 助成金受賞式：10月下旬

WEBアクセシビリティ化作業：11月から1月上旬  
 報告書提出：平成18年2月下旬

助成が決定した団体には、希望により次のサポートを行います。イー・エルダーが障害者と協働で、WEBアクセシビリティの診断、修正、品質保証の有料サポートを実施 NTPCコミュニケーションズによる3年間無料サーバーの提供。イー・エルダーがWEBアクセシビリティ修正後の保守のための研修講座(無料)。

応募先・お問合せ先：

NPO法人 イー・エルダー「NPOアクセシビリティ支援プログラム事務局」(白浜)  
 〒105-0043 東京都渋谷区道玄坂1-15-3-30  
 URL : <http://web.access-sp.jp>  
 E-mail : [info@access-sp.jp](mailto:info@access-sp.jp)  
 支援：株式会社 NTPC コミュニケーションズ

大和証券福祉財団 ボランティア活動助成  
 1件30万円。総額5000万円  
 応募締め切り 9月15日

詳細問い合わせ先：

〒103-8219  
 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル  
 財団法人 大和証券福祉財団 事務局  
 (TEL:03-3665-5147 FAX:03-3662-0495)

## パタゴニア環境助成金プログラム

以下のようなグループに助成します

- ・常に行動を起こしているグループ
- ・広く一般の人々を巻き込み、支持を得ているグループ
- ・目的を達成するために戦略的に活動しているグループ
- ・問題の根本の原因を見極め、その原因に働きかけているグループ
- ・明確な目標を持っているグループ
- ・パタゴニアがビジネスを展開している地域で活動しているグループ

2006年第1回締め切り 8月31日

問い合わせ：パタゴニア日本支社環境助成金プログラム係  
 〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12 本覚寺ビル  
 TEL:(0467)23-8961

## 公益信託 農林中金80周年森林再生基金

### 「森林再生基金」

荒廃した民有林の再生事業。1件当たり上限3000万円  
 応募締め切り9月5日

問い合わせ 全国森林組合連合会 組織部

TEL03-3294-9717

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル8F

[http://www.nochubank.or.jp/pdf\\_news/n\\_20050629181713.pdf](http://www.nochubank.or.jp/pdf_news/n_20050629181713.pdf)

### NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)  
 杉岡 直人 (北星学園大学教授)  
 杉山さかえ (北海道グリーンファント 理事長)  
 事務局長 佐藤 隆

### NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

### NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人  
 NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

### NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目  
 クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail [npo@mb.infosnow.ne.jp](mailto:npo@mb.infosnow.ne.jp)

URL <http://npo-hokkaido.org/>

### 相談センター/研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目  
 札通ビル8階 電話011-271-5208  
 FAX011-281-8807